

東京科学大学 教育改善に関するアンケート 令和6年度9月修了予定者〈理工学系・博士後期課程〉

教育本部・戦略本部IR部門

目次

1. 基本統計量	6
1.1 学生種別	6
1.2 所属学院	6
2. 問1. 課程における目標について	6
2.1 1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	6
2.2 2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	6
3. 問2. 本学での学生生活における環境・教育について	7
3.1 1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	7
3.2 2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	7
3.3 3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	7
3.4 4) 研究活動に満足している	7
3.5 5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	8
3.6 6) サークル活動等の課外活動に満足して	8
3.7 7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	8
3.8 8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している ..	8
3.9 9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	9
3.10 10) 本学の講義の方法に対して満足している	9
3.11 11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	9
3.12 12) 論文・研究指導に満足している	9

4. 問3. 教育について	10
4.1 1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた ...	10
4.2 2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	10
4.3 3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	10
4.4 4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	10
4.5 5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	11
4.6 6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	11
4.7 7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	11
4.8 8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	11
5. 問4 英語による授業実施について	12
5.1 1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。	12
6. 問5. クォーター制及び学外活動に関して	12
6.1 1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	12
6.2 2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している .	12
6.3 3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	13
6.4 4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	13
6.5 5) 留学などの国際経験をしたことがある	13
6.6 6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある	13
6.7 7) ボランティア活動をしたことがある	14
7. 問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて	14
7.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	14

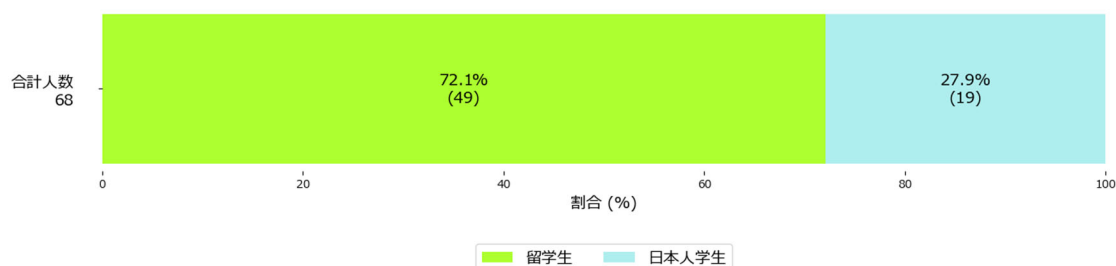
7.2 2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	14
7.3 3) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	15
7.4 4) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	15
7.5 5) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	15
7.6 6) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	15
7.7 7) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	16
7.8 8) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせる ことができるようになった	16
7.9 9) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	16
7.10 10) 論理的な思考で分析できるようになった	16
7.11 11) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	17
7.12 12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	17
7.13 13) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	17
7.14 14) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	17
7.15 15) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	18
7.16 16) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	18
7.17 17) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	18

8. 問7. 博士教養科目（「教養先端科目」、「学生プロデュース科目」）を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。	19
8.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	19
8.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	19
8.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	19
8.4 4) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	20
8.5 5) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	20
8.6 6) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	20
8.7 7) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせる ことができるようになった	20
8.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	21
8.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった	21
8.10 10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	21
8.11 11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	21
8.12 12) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	22
8.13 13) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	22
8.14 14) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	22
8.15 15) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	22

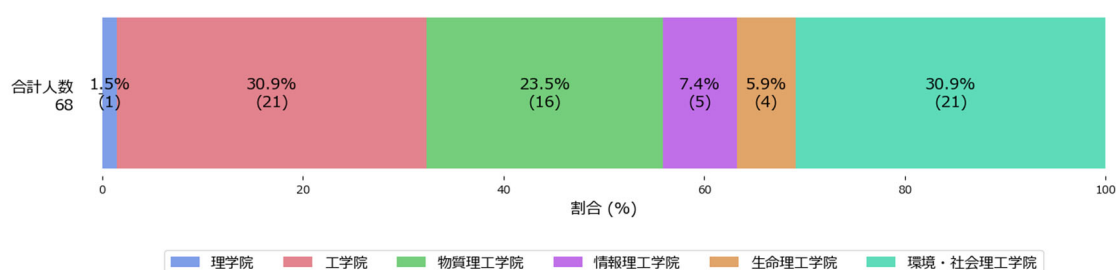
9. 問8 就職，研究室・コース所属，早期卒業，所属コース外の専門科目やプログラムについて	23
9.1 【就職までに至るまでの状況について】	23
9.1.1 1) 就職先は，学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。	23
9.1.2 2) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について，最もふさわしいものを1つ選択してください。	23
9.1.3 3) 就職先の志望順位について選択してください。	23
9.1.4 4) 将来的に起業したいと思いますか。最もふさわしいものを1つ選択ください。	24
9.2 【系所属から研究室・コース所属に至るまでの状況について】	24
9.2.1 1) いつ頃具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。	24
9.2.2 2) 具体的な専門分野（研究テーマなど）をどのように絞っていききましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。	24
9.3 【早期卒業について】	26
9.3.1 1) 早期卒業した方は，その理由を選択してください。（複数回答可）	26
9.3.2 2) 早期卒業をしなかった方は，その理由を選択してください。（複数回答可）	28
9.4 【所属コース外の専門科目やプログラムについて】	29
9.4.1 1) 選択したコースのカリキュラム以外（文系教養科目，キャリア科目を除く）で履修した専門科目やプログラムを選択してください。（複数回答可）	29
9.4.2 2) 1) で履修した方は，その理由を選択してください。（複数回答可）	31
9.4.3 3) 1) で履修した方は，将来，本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。	32

1. 基本統計量

1.1 学生種別

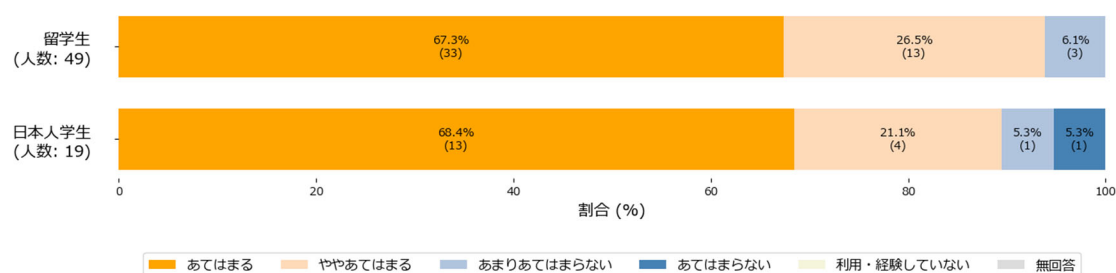


1.2 所属学院

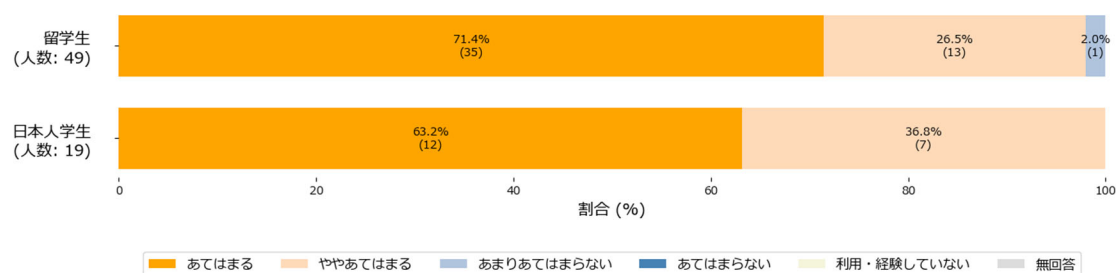


2. 問1. 課程における目標について

2.1 1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた

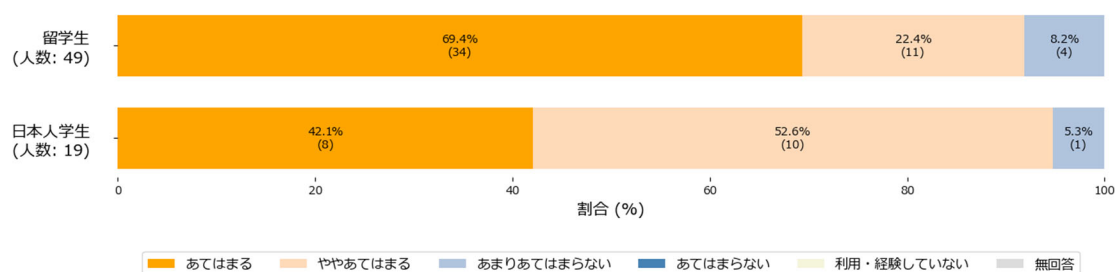


2.2 2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた

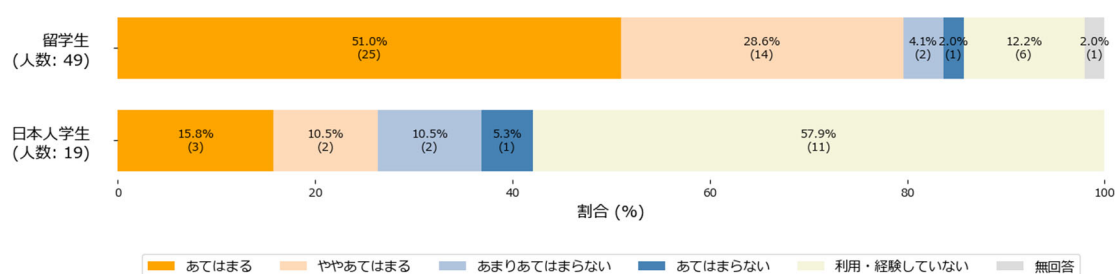


3. 問2. 本学での学生生活における環境・教育について

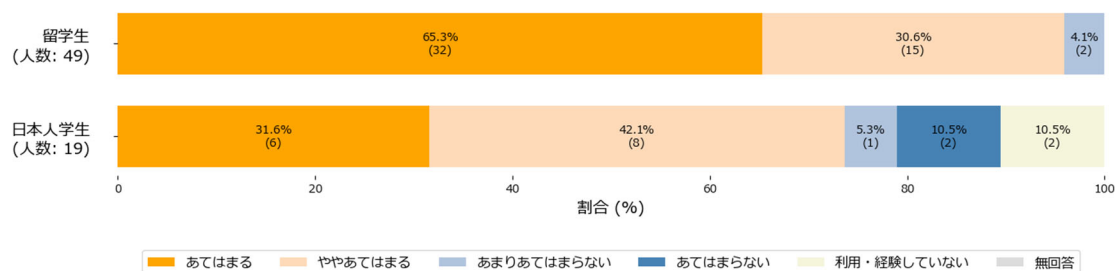
3.1 1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している



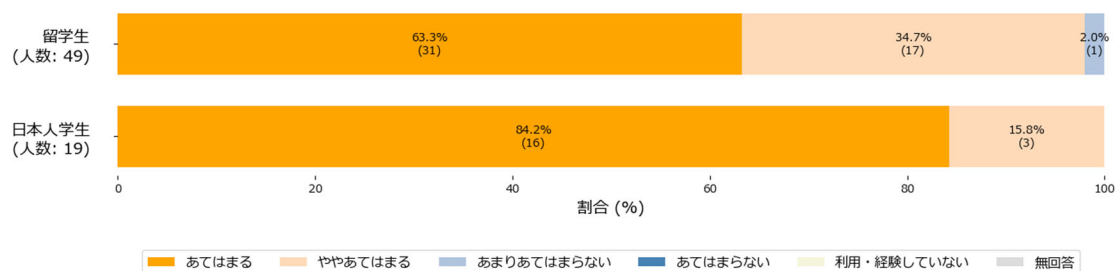
3.2 2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している



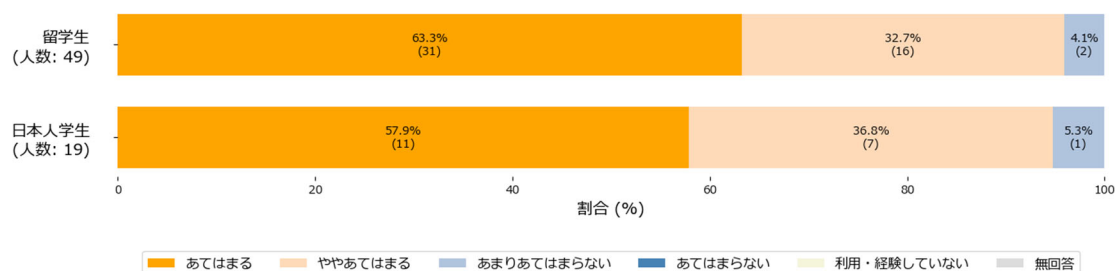
3.3 3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している



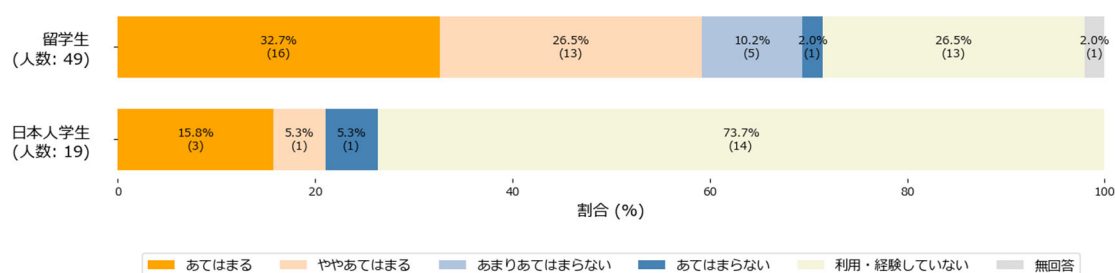
3.4 4) 研究活動に満足している



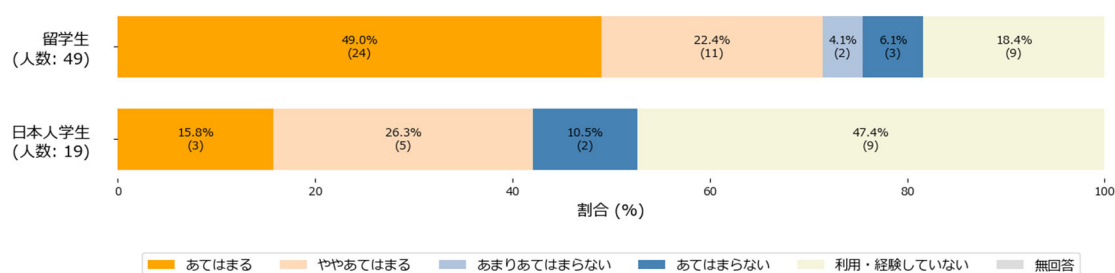
3.5 5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している



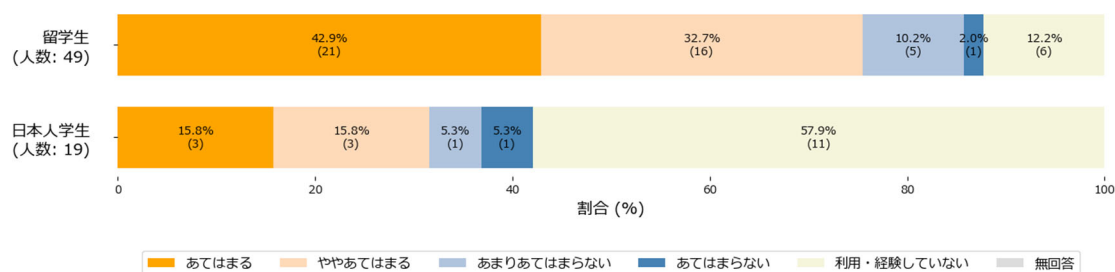
3.6 6) サークル活動等の課外活動に満足してる



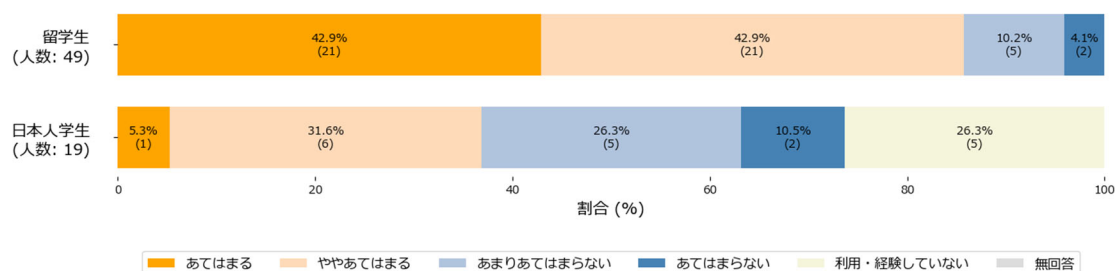
3.7 7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している



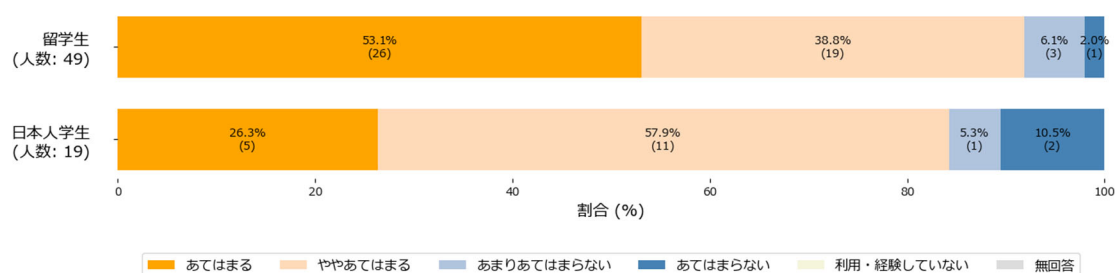
3.8 8) 体育館，プール，グラウンド等の施設・設備面に満足している



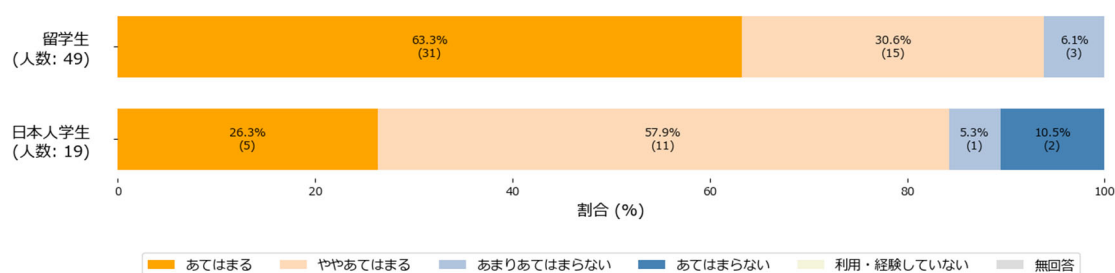
3.9 9) 食堂, 購買等の施設・設備面に満足している



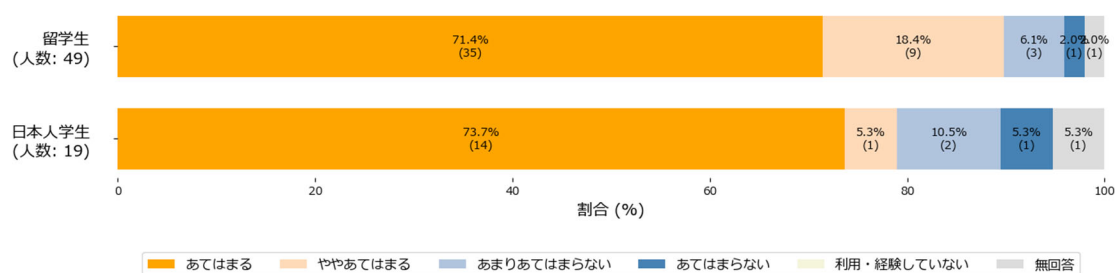
3.10 10) 本学の講義の方法に対して満足している



3.11 11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している

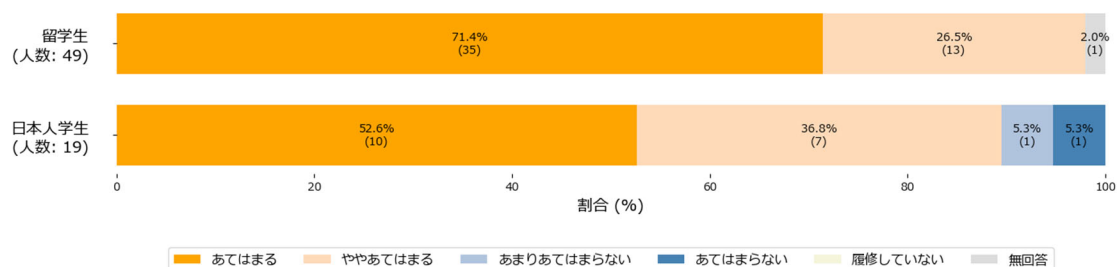


3.12 12) 論文・研究指導に満足している

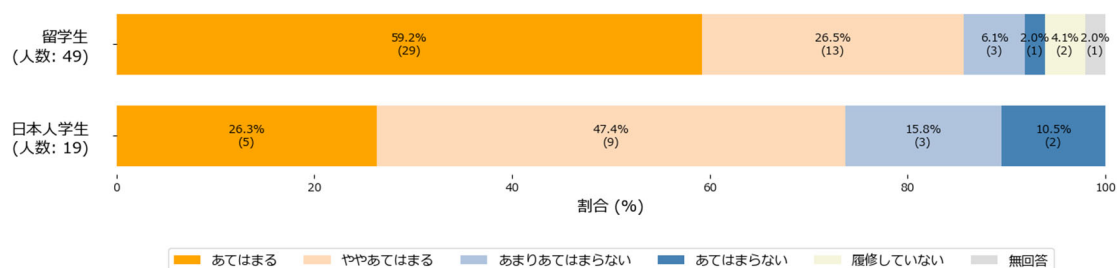


4. 問3. 教育について

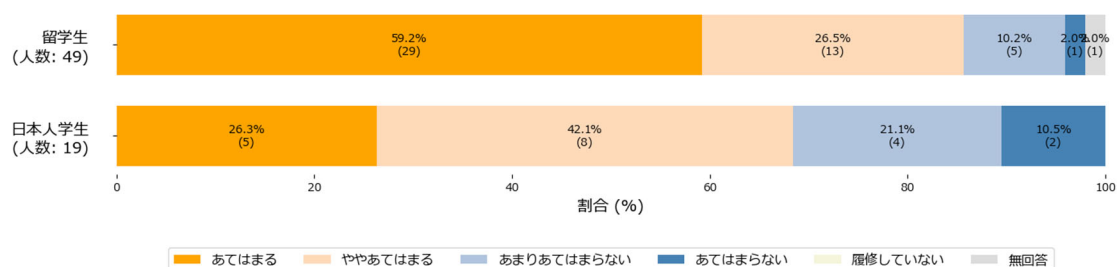
4.1 1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた



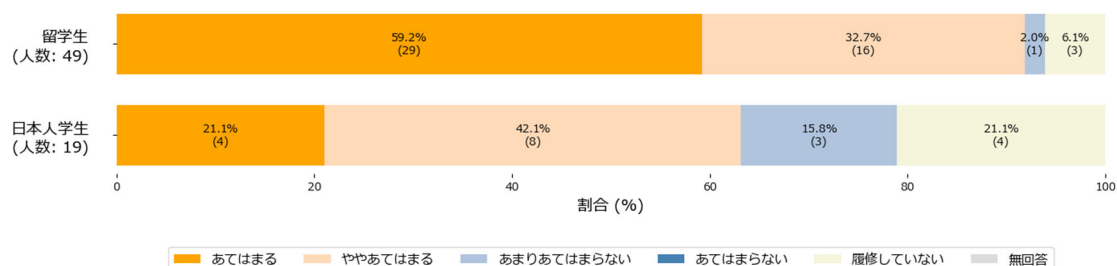
4.2 2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた



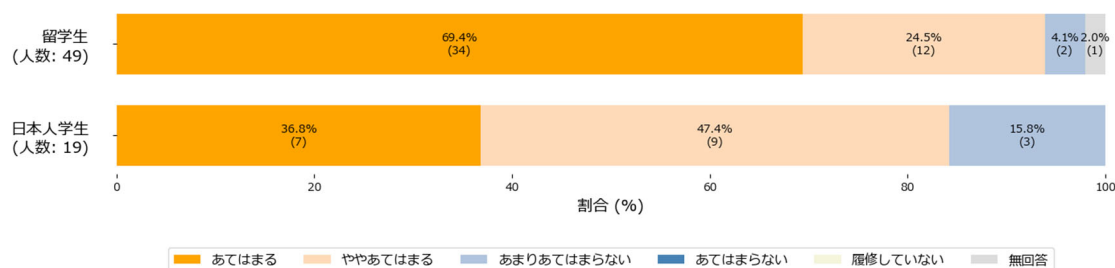
4.3 3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた



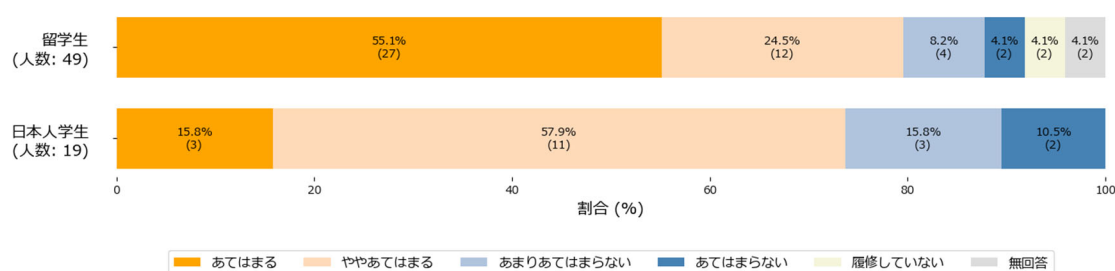
4.4 4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた



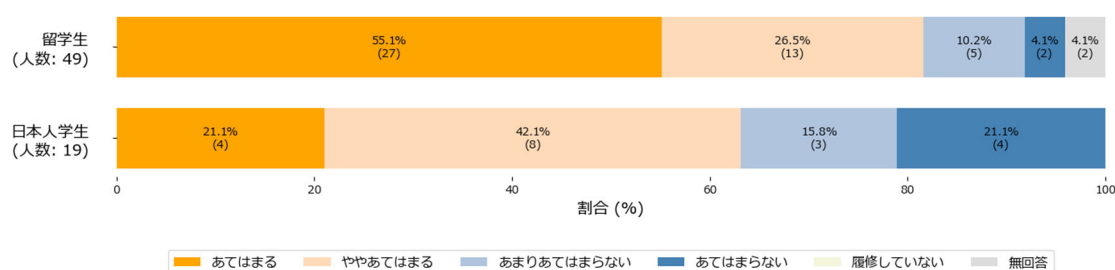
4.5 5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している



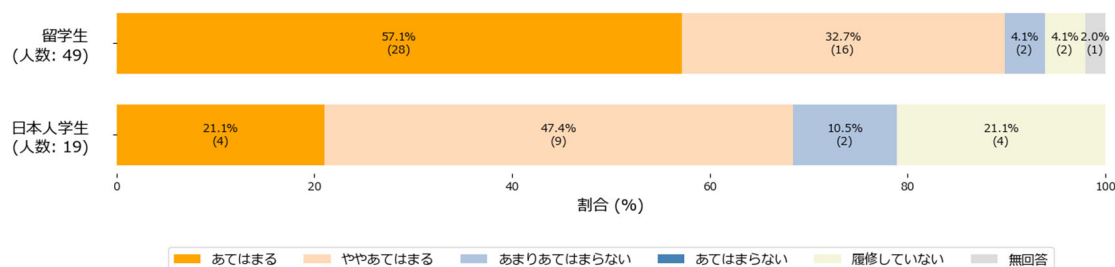
4.6 6) ★文系教養科目の授業に対して満足している



4.7 7) ★キャリア科目の授業に対して満足している

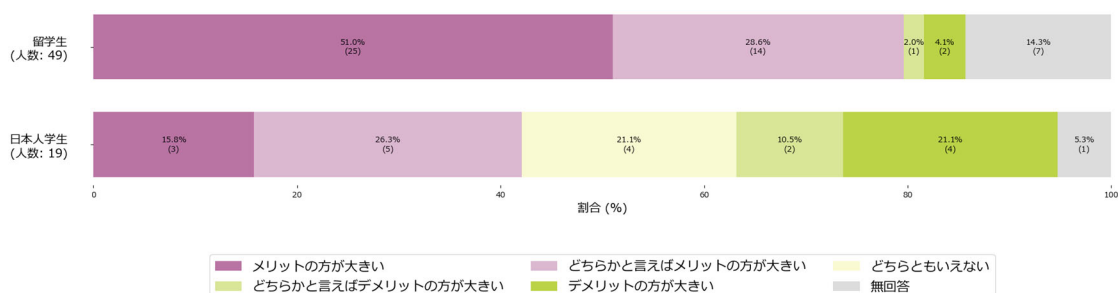


4.8 8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している



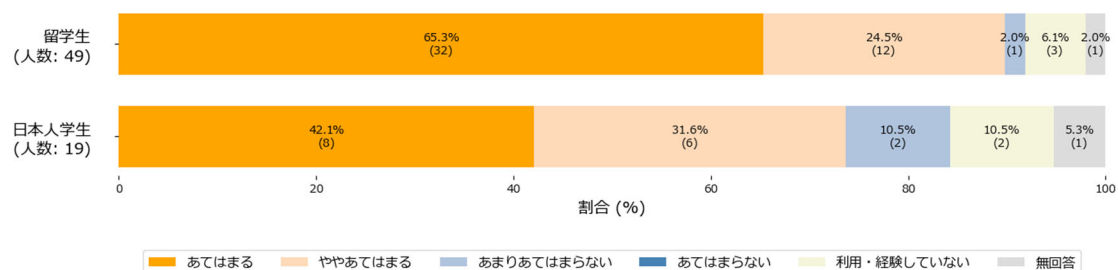
5. 問4 英語による授業実施について

5.1 1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

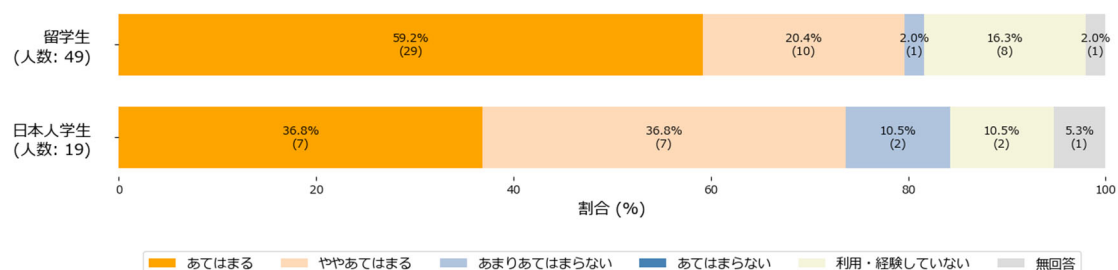


6. 問5. クォーター制及び学外活動に関して

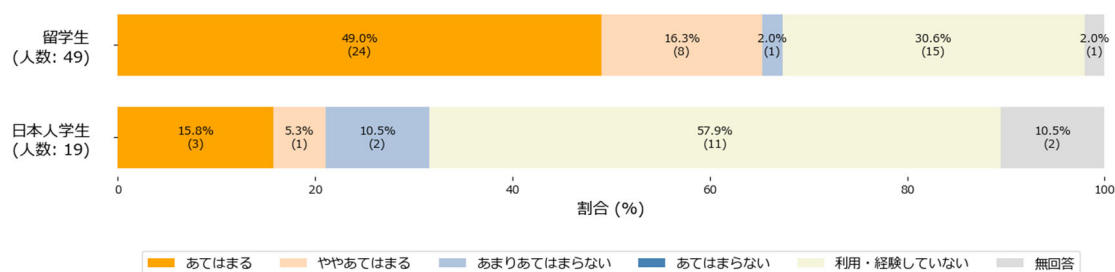
6.1 1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している



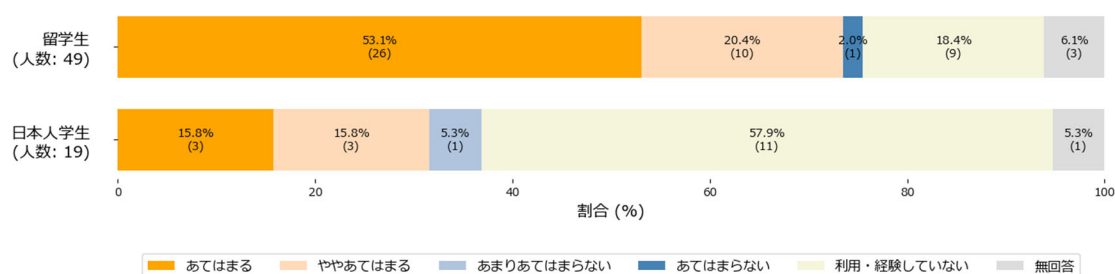
6.2 2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している



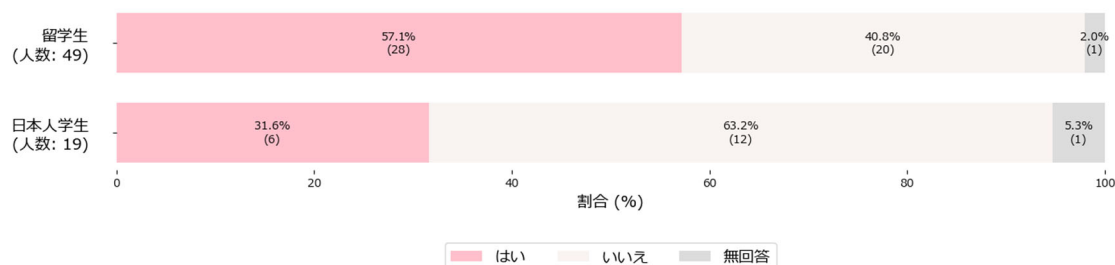
6.3 3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる



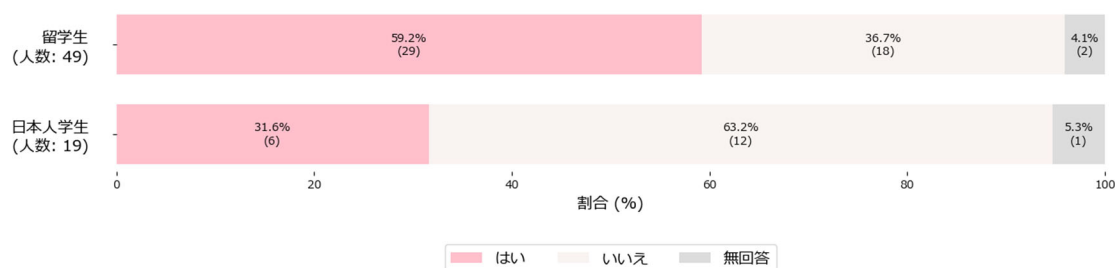
6.4 4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる



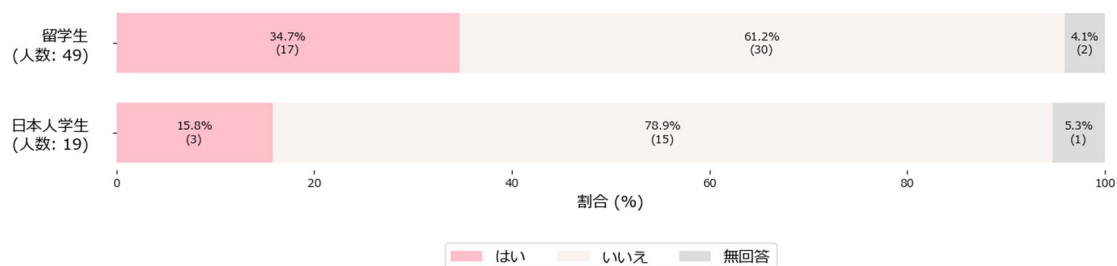
6.5 5) 留学などの国際経験をしたことがある



6.6 6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある

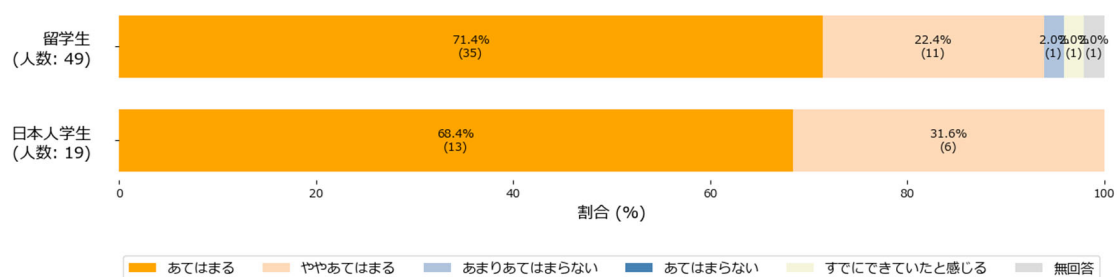


6.7 7) ボランティア活動をしたことがある

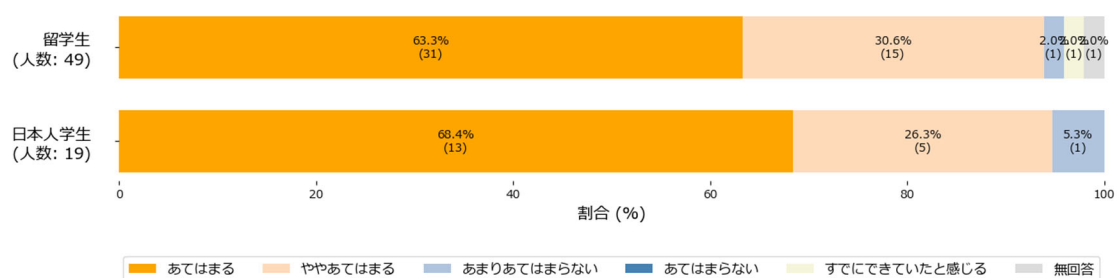


7. 問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

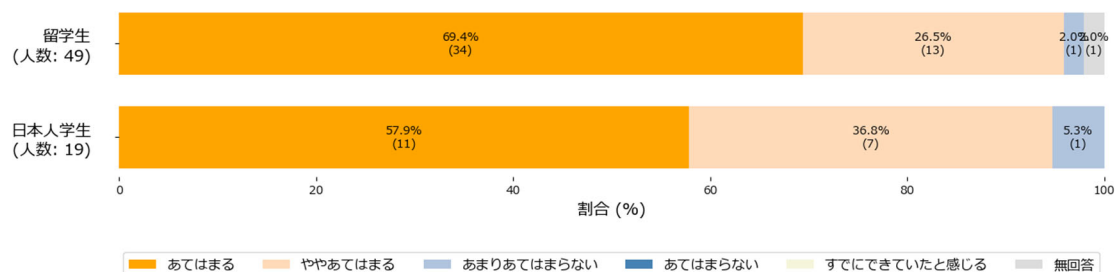
7.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった



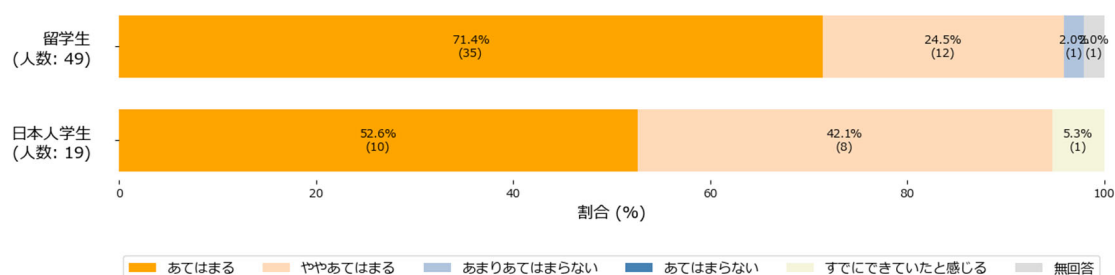
7.2 2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった



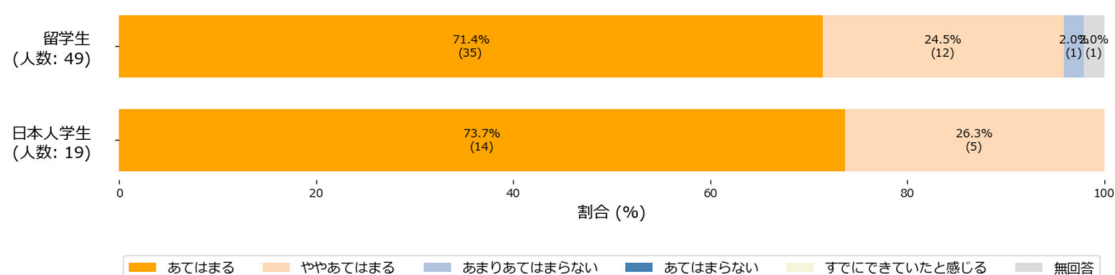
7.3 3) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった



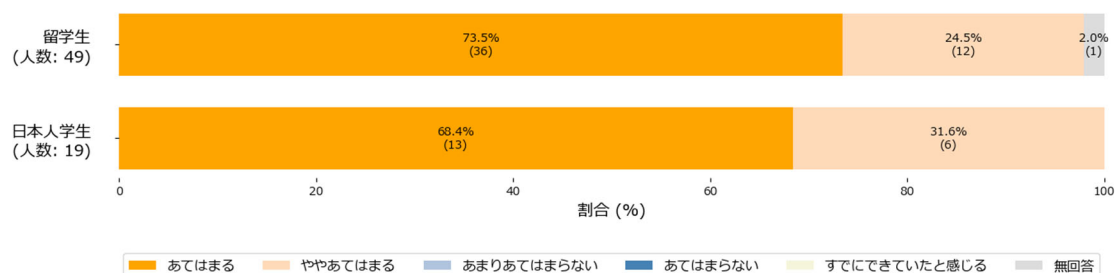
7.4 4) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた



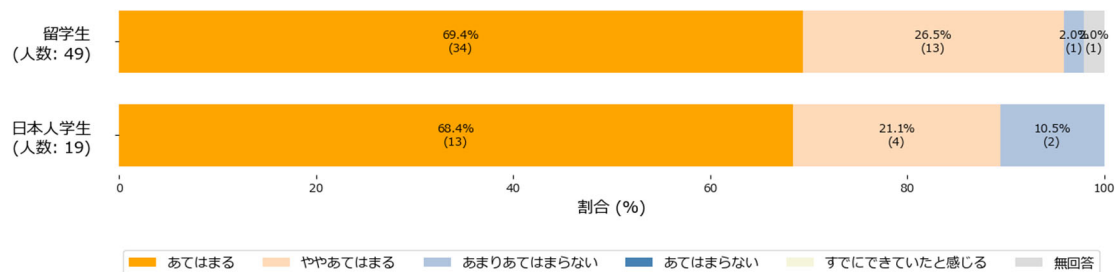
7.5 5) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった



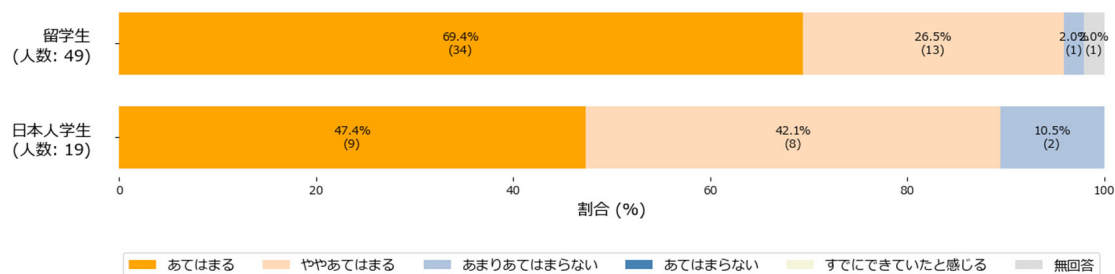
7.6 6) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった



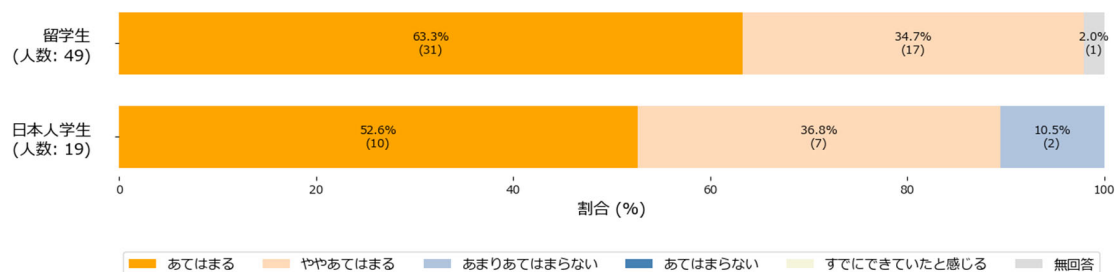
7.7 7) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった



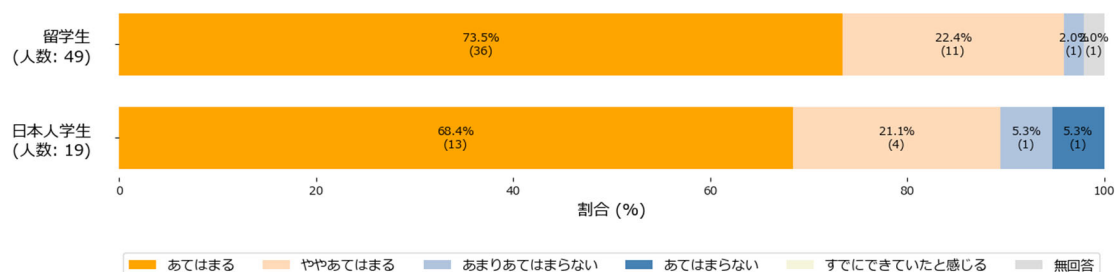
7.8 8) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し，すり合わせる事ができるようになった



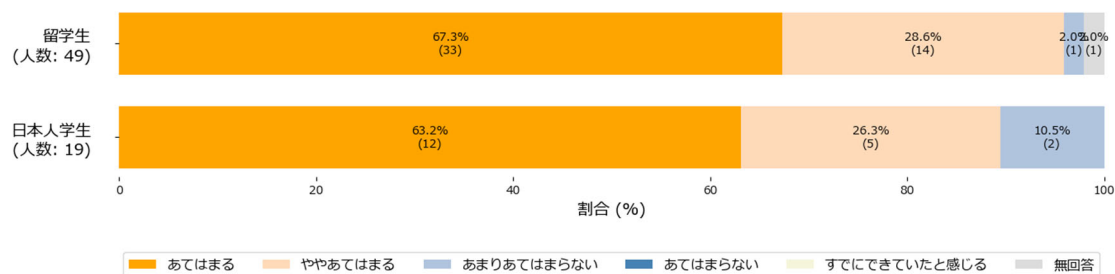
7.9 9) 複数の視点で事象を整理することができるようになった



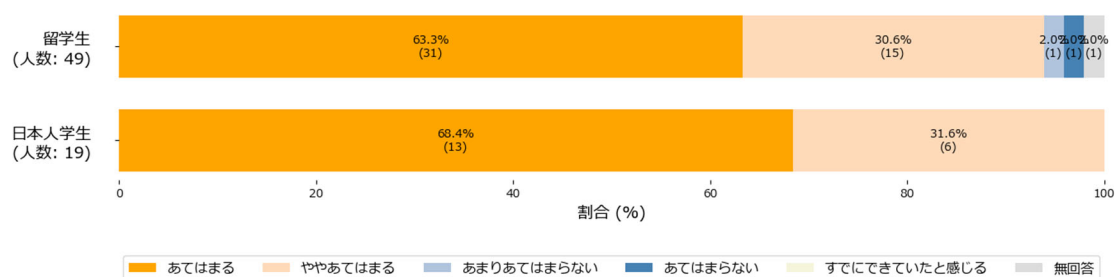
7.10 10) 論理的な思考で分析できるようになった



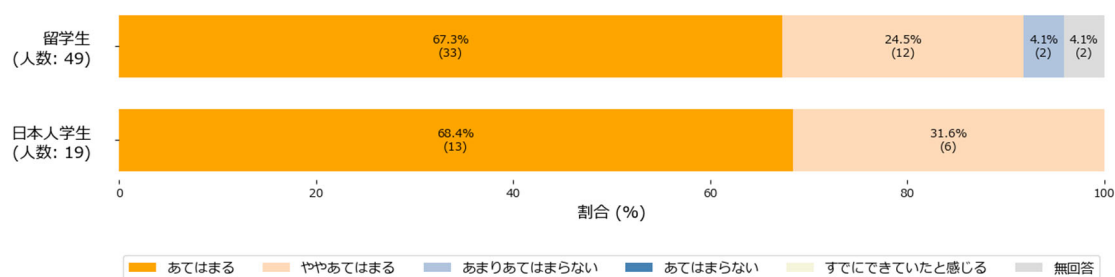
7.11 1 1) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた



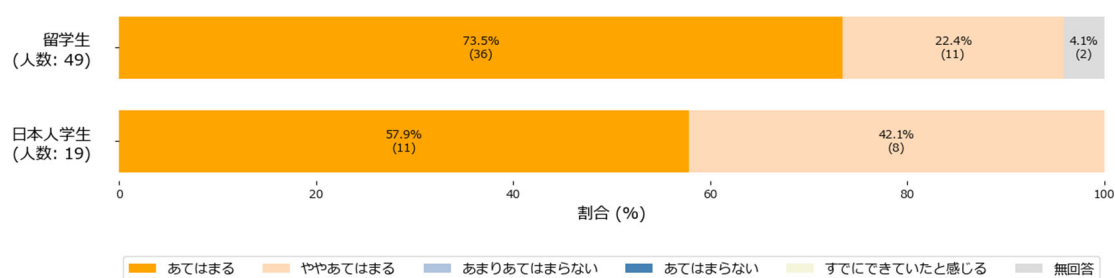
7.12 1 2) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができたようになった



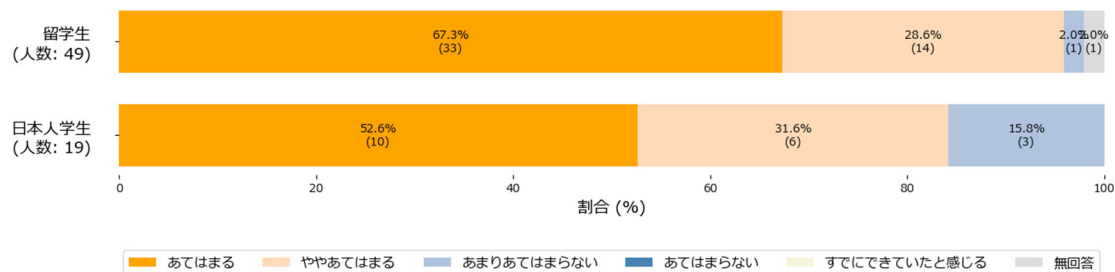
7.13 1 3) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった



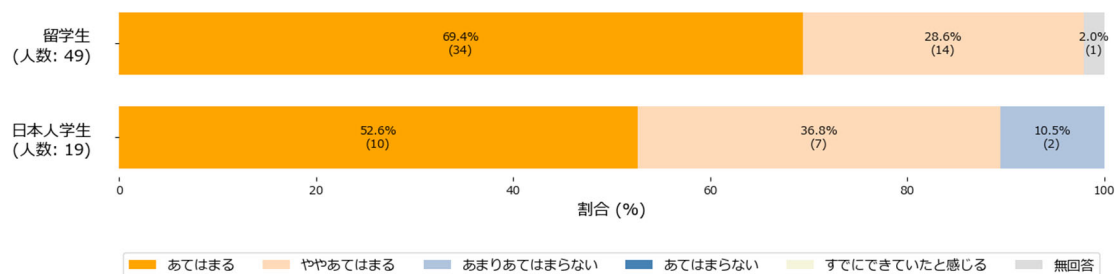
7.14 1 4) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった



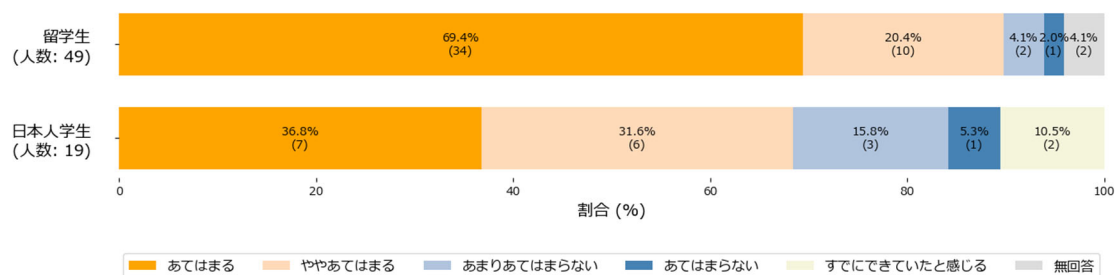
7.15 15) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた



7.16 16) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった

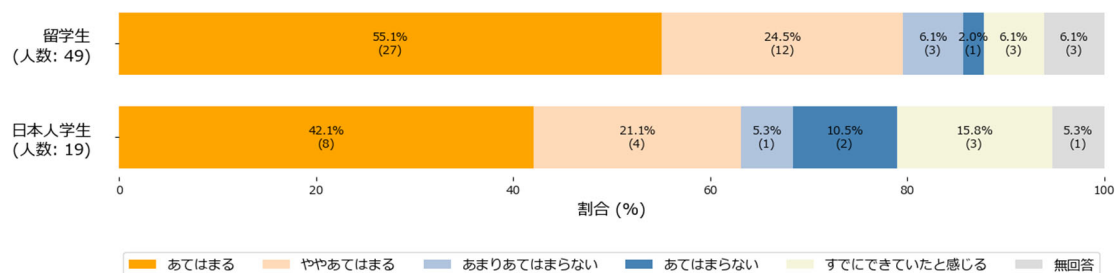


7.17 17) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった

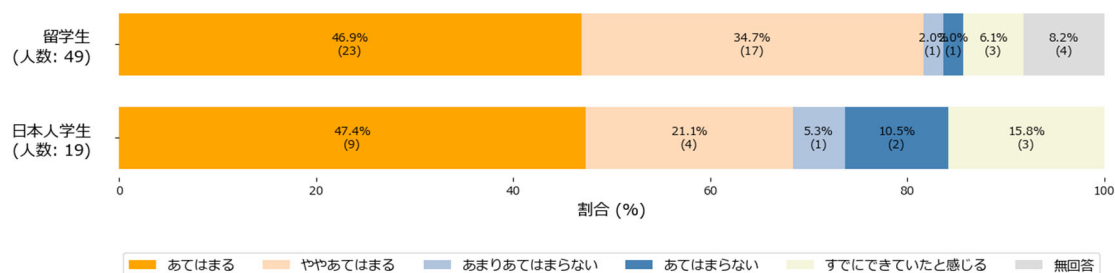


8. 問7. 博士教養科目（「教養先端科目」、「学生プロデュース科目」）を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

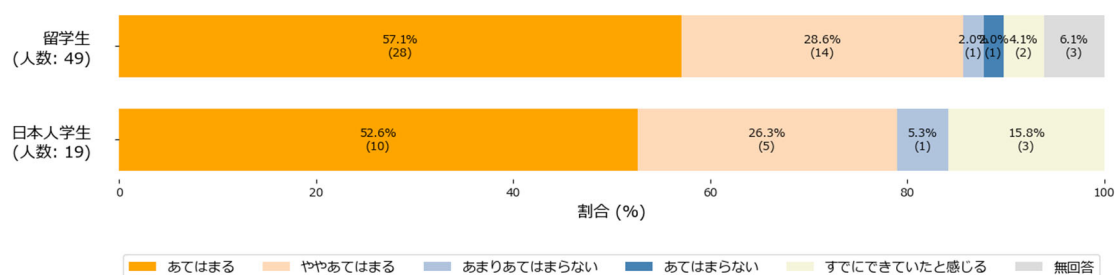
8.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができたようになった



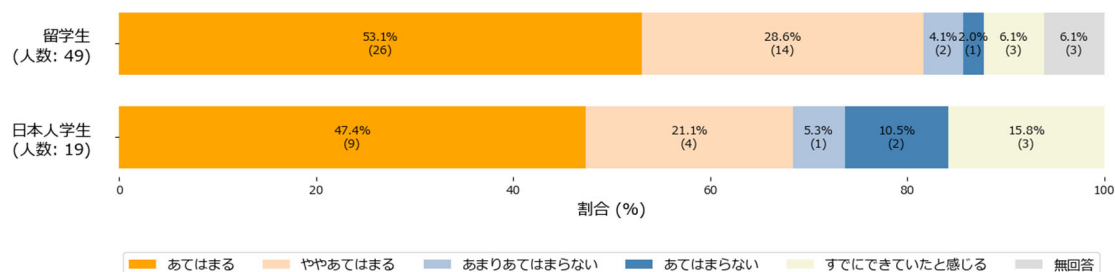
8.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった



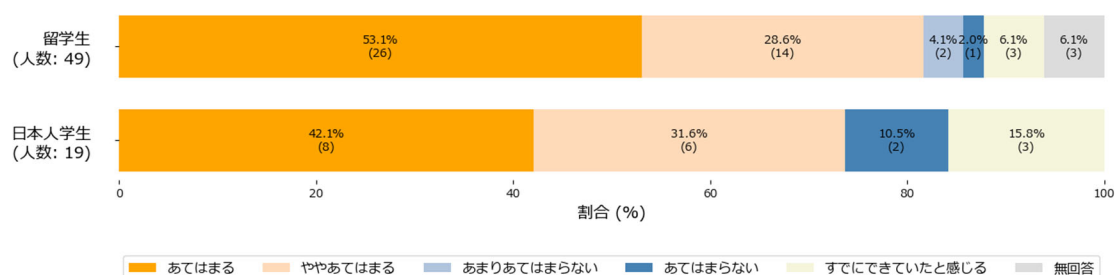
8.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた



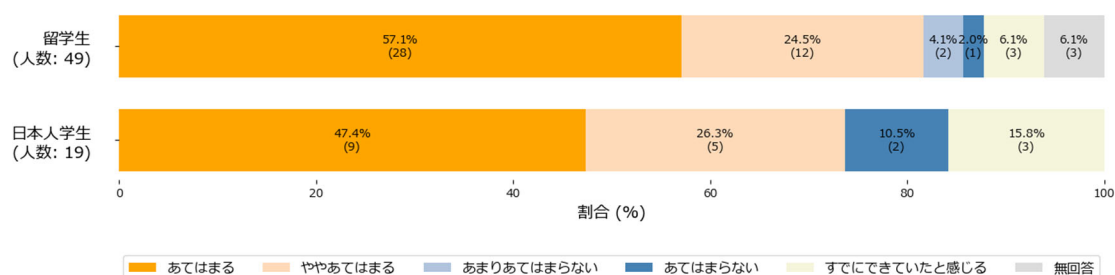
8.4 4) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった



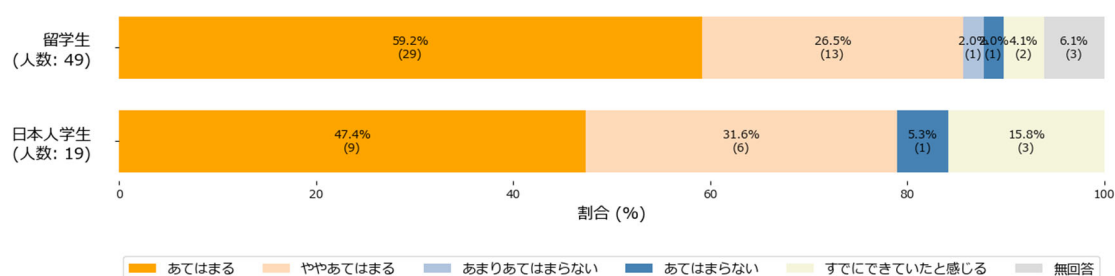
8.5 5) 新たな知・価値のために自発的に学び考え，行動に移すことができるようになった



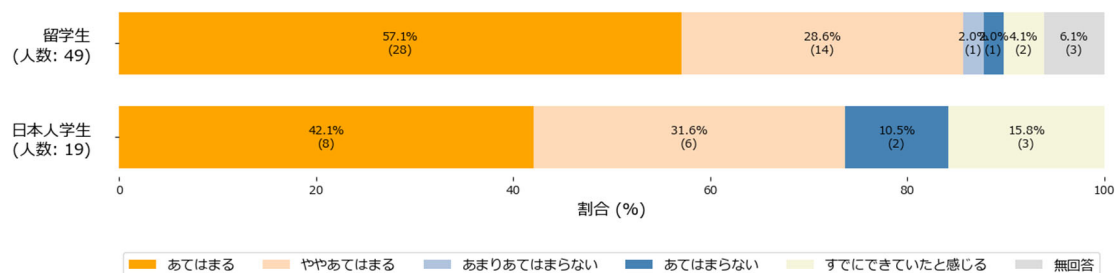
8.6 6) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった



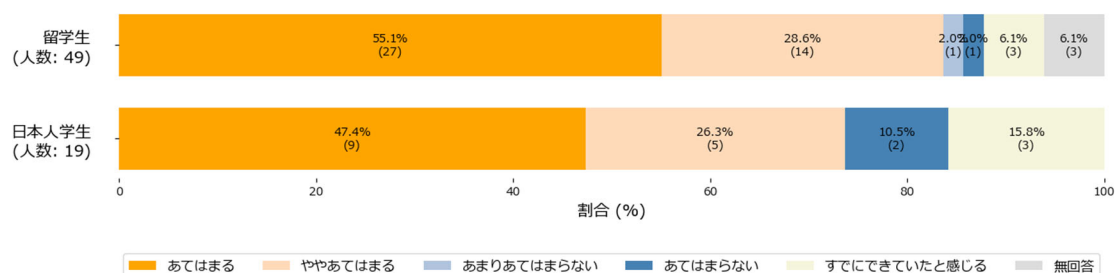
8.7 7) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し，すり合わせることができるようになった



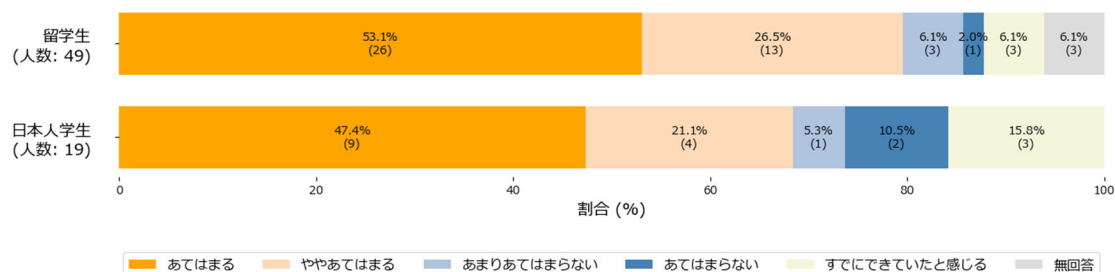
8.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった



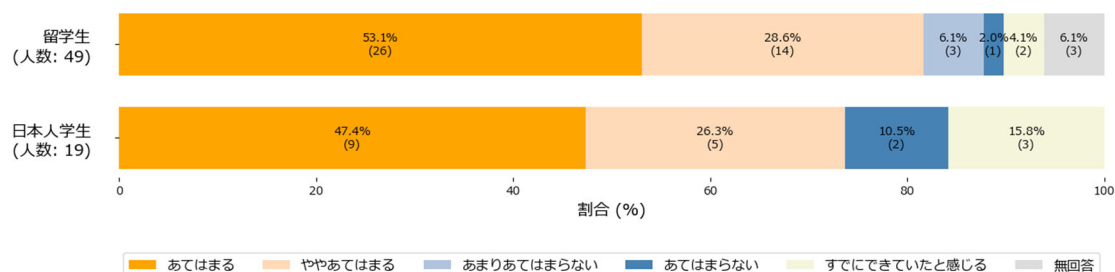
8.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった



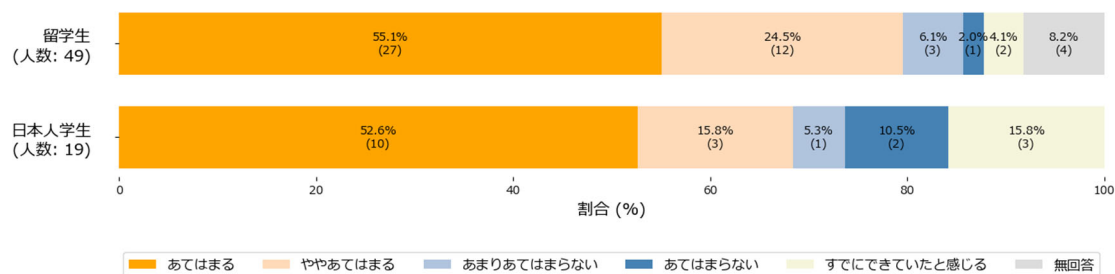
8.10 10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた



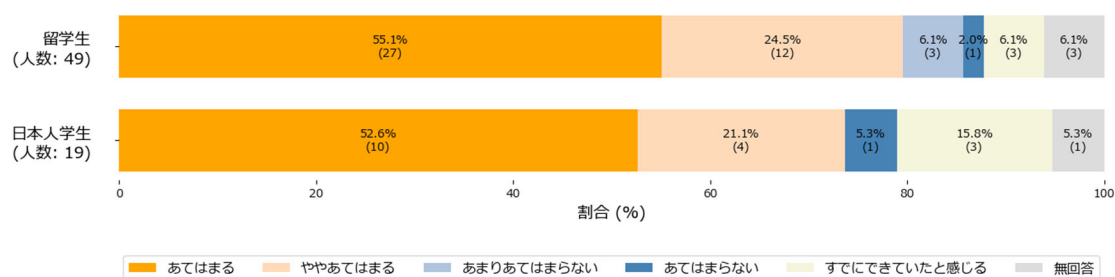
8.11 11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができたようになった



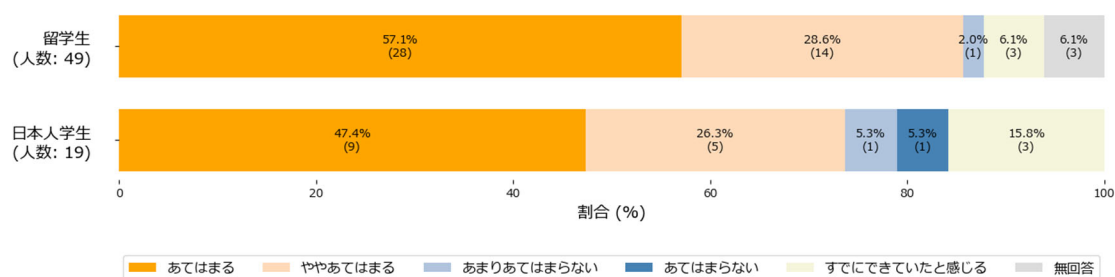
8.12 1 2) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった



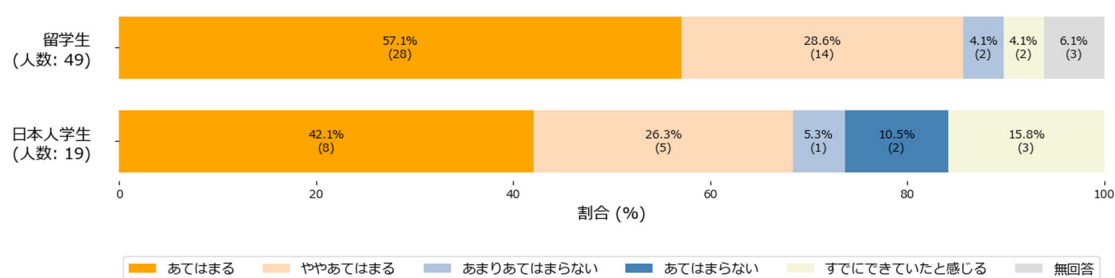
8.13 1 3) 学術誌に論文を投稿する，学会での発表を行うなど，新たな知見を発信できるようになった



8.14 1 4) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し，新しい価値観を知ることができた



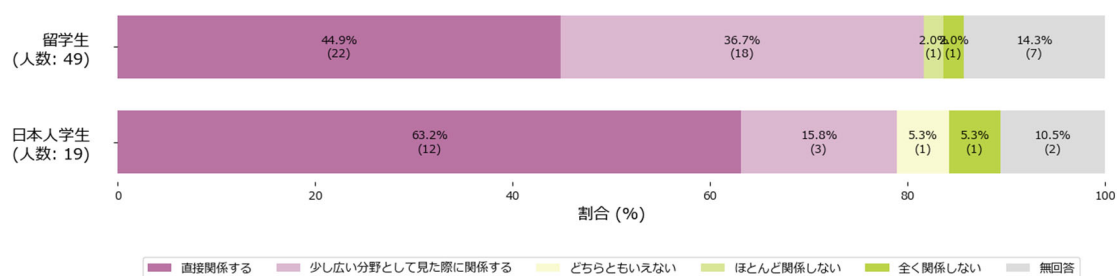
8.15 1 5) 自身と異なる慣習，常識等を理解し，他者と協働できるようになった



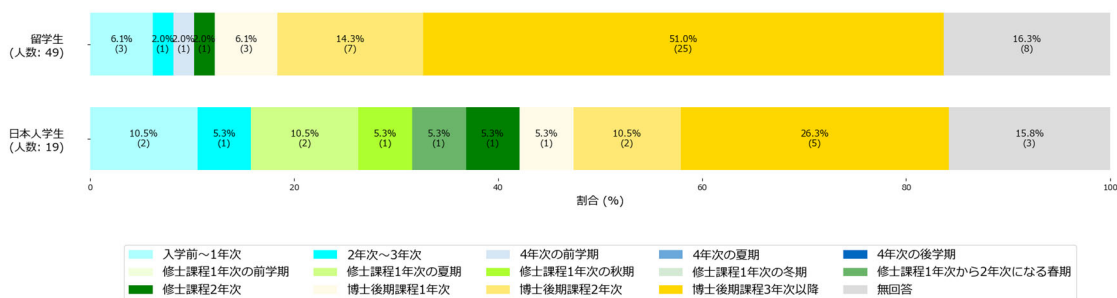
9. 問8 就職，研究室・コース所属，早期卒業，所属コース外の専門科目やプログラムについて

9.1 【就職までに至るまでの状況について】

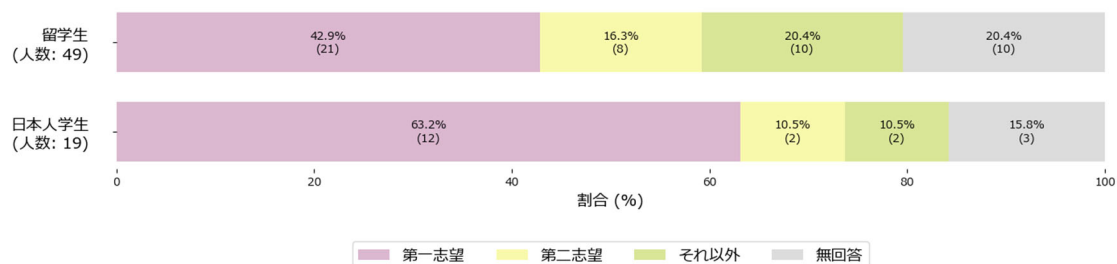
9.1.1 1) 就職先は，学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。



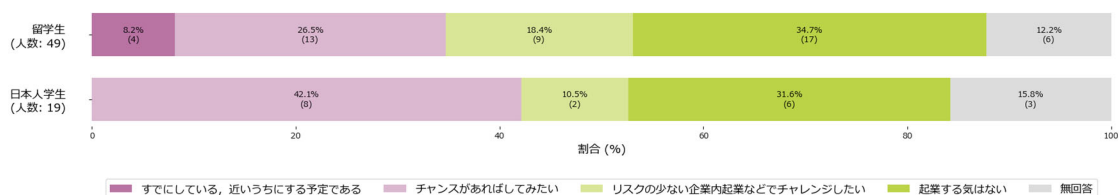
9.1.2 2) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について，最もふさわしいものを1つ選択してください。



9.1.3 3) 就職先の志望順位について選択してください。

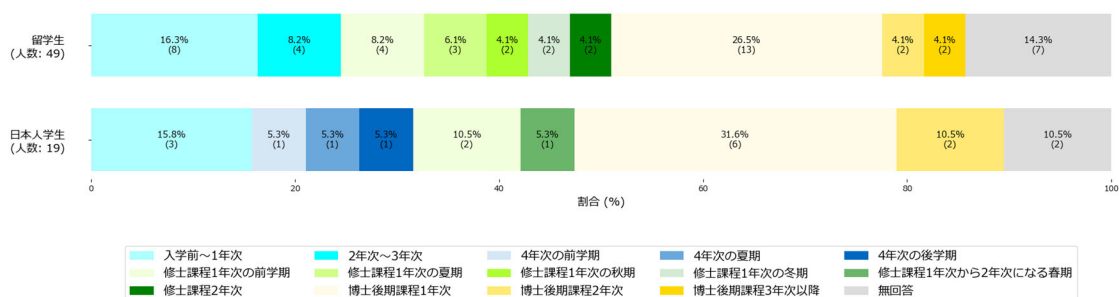


9.1.4 4) 将来的に起業したいと思いますか。最もふさわしいものを1つ選択ください。



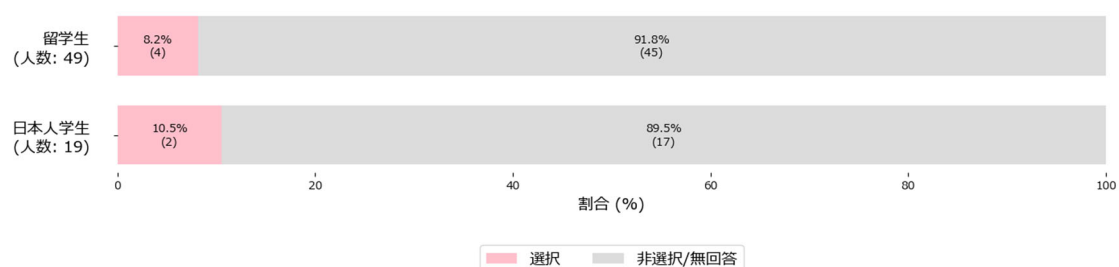
9.2 【系所属から研究室・コース所属に至るまでの状況について】

9.2.1 1) いつ頃具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

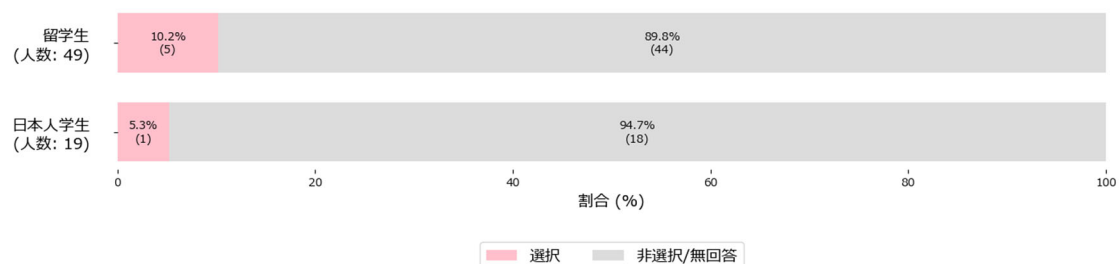


9.2.2 2) 具体的な専門分野（研究テーマなど）をどのように絞っていきましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。

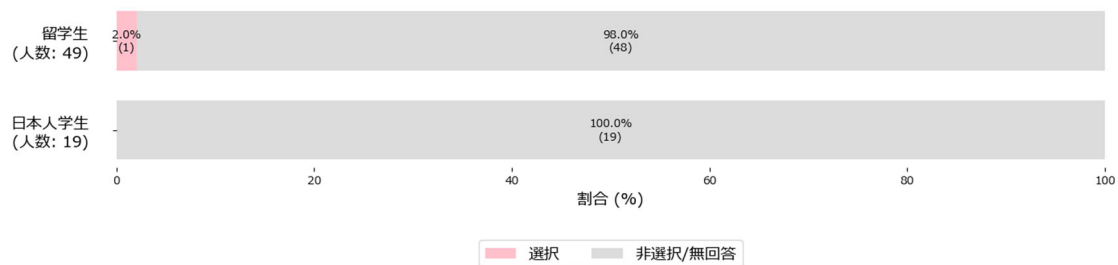
9.2.2.1 (1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた



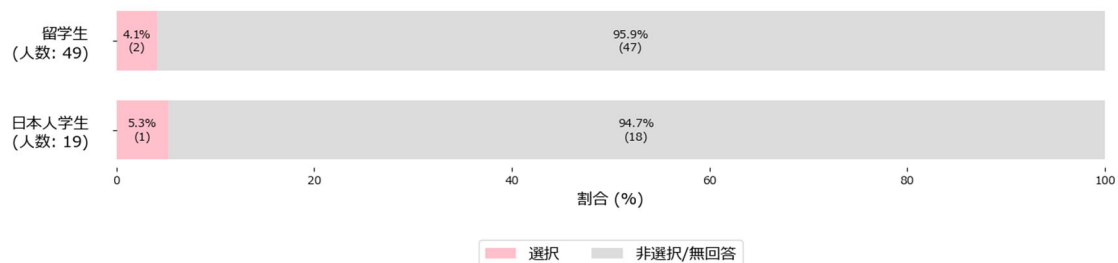
9.2.2.2 (2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた



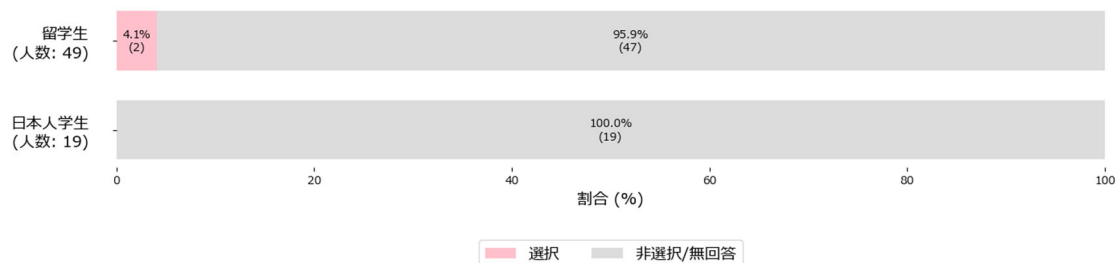
9.2.2.3 (3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた



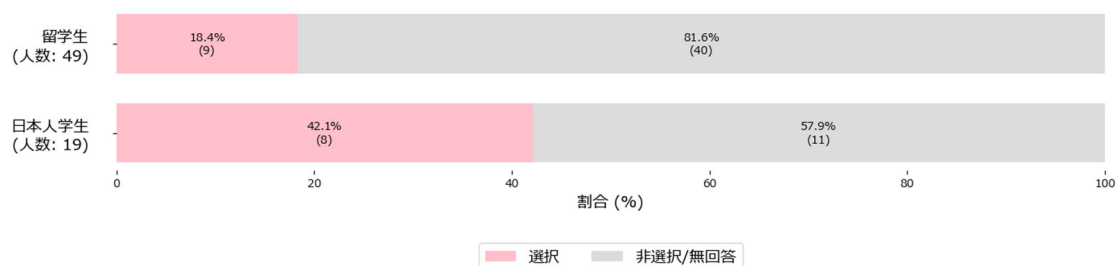
9.2.2.4 (4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた



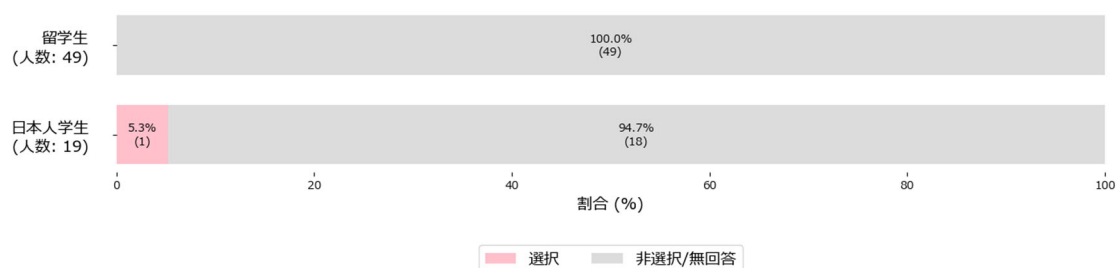
9.2.2.5 (5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた



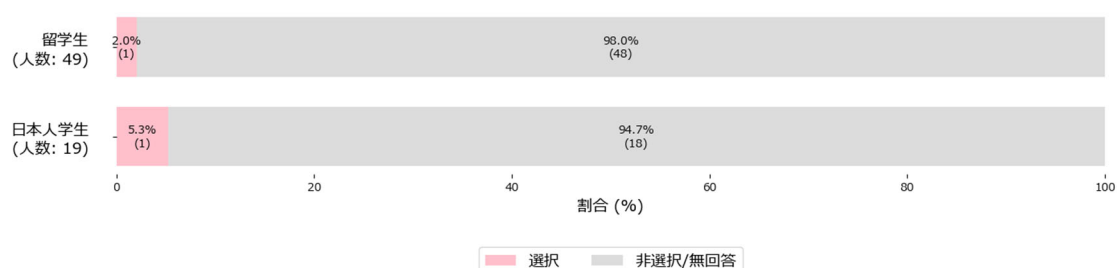
9.2.2.6 (6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた



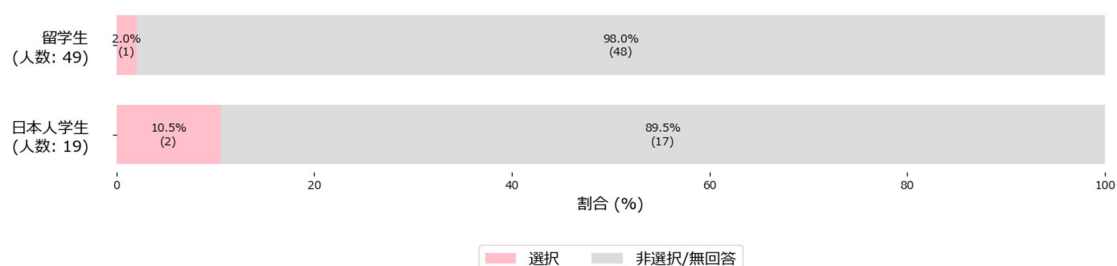
9.2.2.7 (7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた



9.2.2.8 (8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した



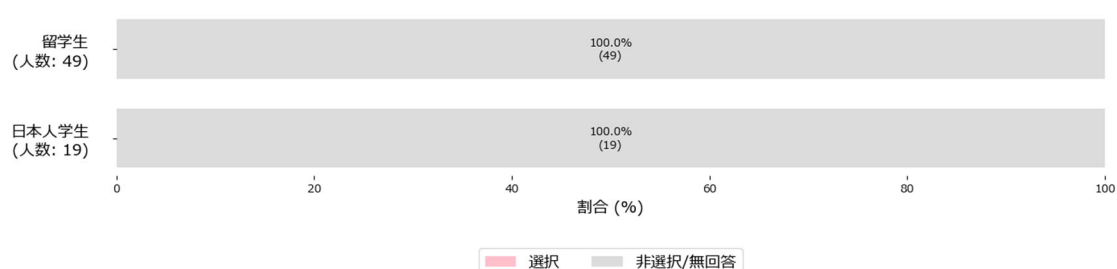
9.2.2.9 (9) その他



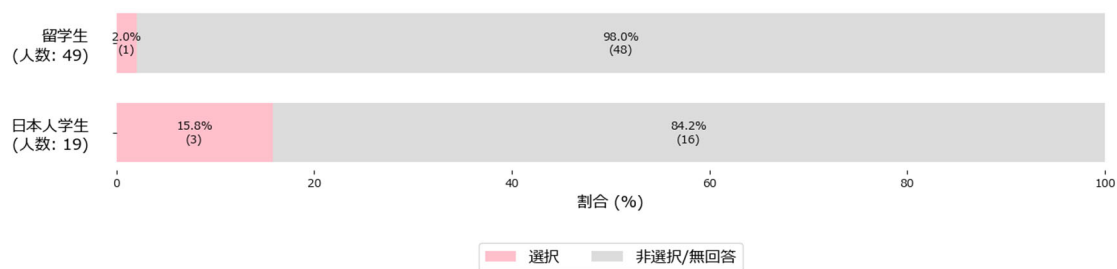
9.3 【早期卒業について】

9.3.1 1) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

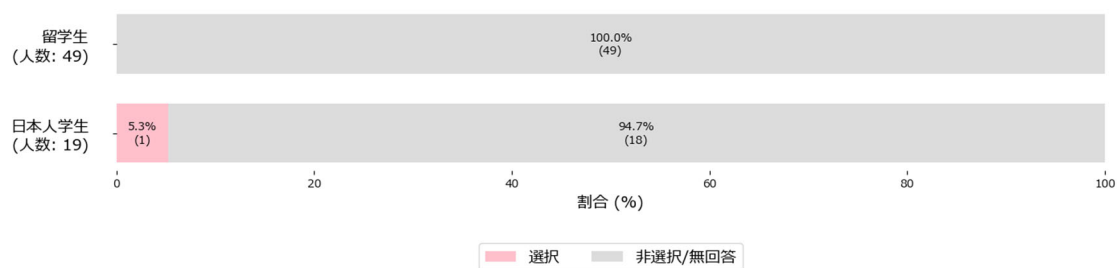
9.3.1.1 (1) 大学院で留学・インターンシップをしたいから



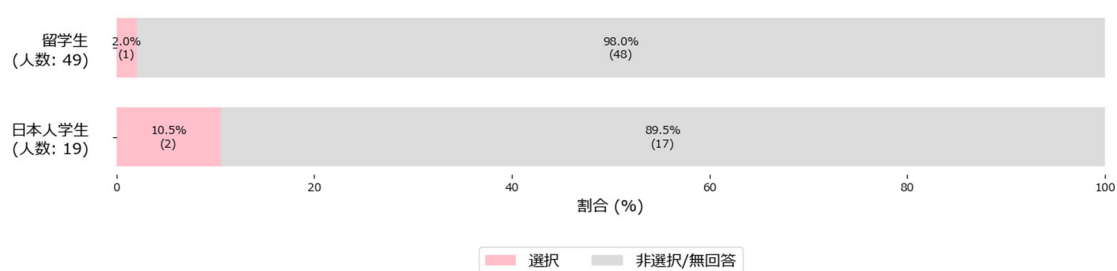
9.3.1.2 (2) 学費を節約するため



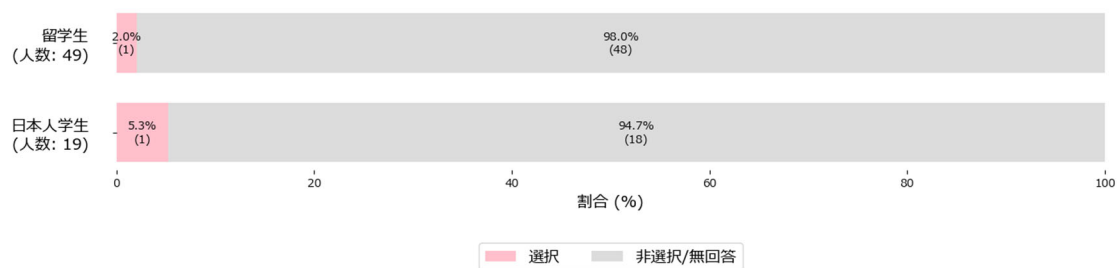
9.3.1.3 (3) 早く社会に出たいから



9.3.1.4 (4) 早く博士後期課程に進学したいから

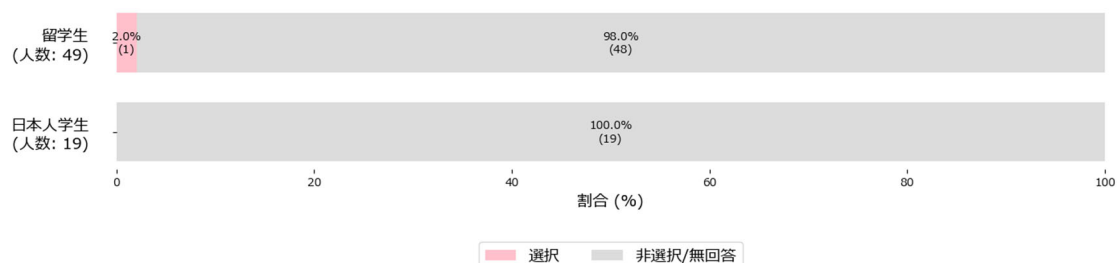


9.3.1.5 (5) その他

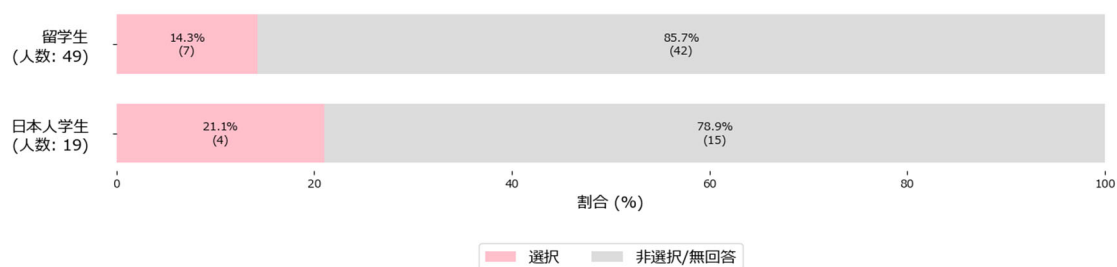


9.3.2 2) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

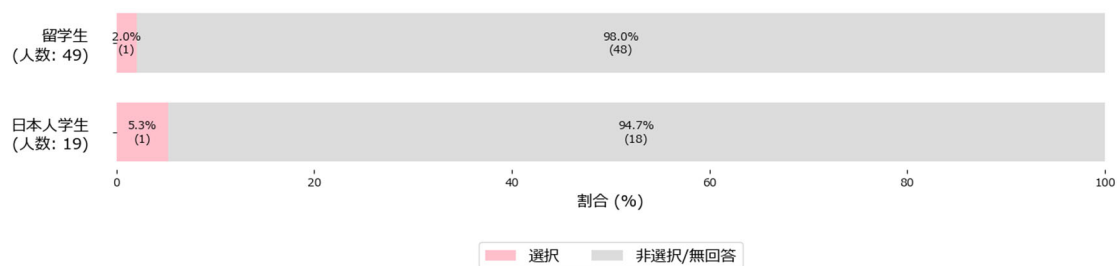
9.3.2.1 (1) 短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない



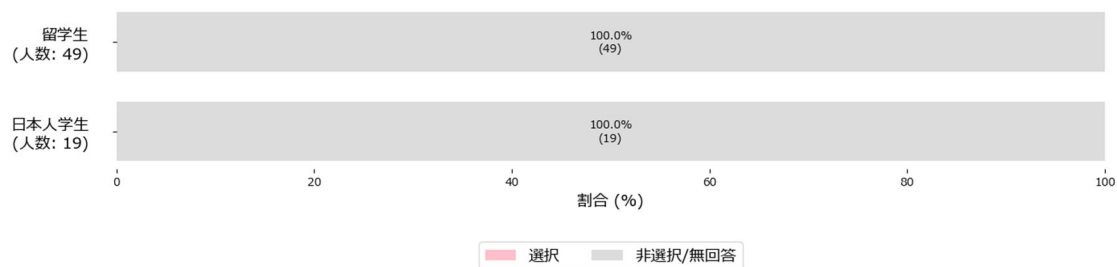
9.3.2.2 (2) 現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから



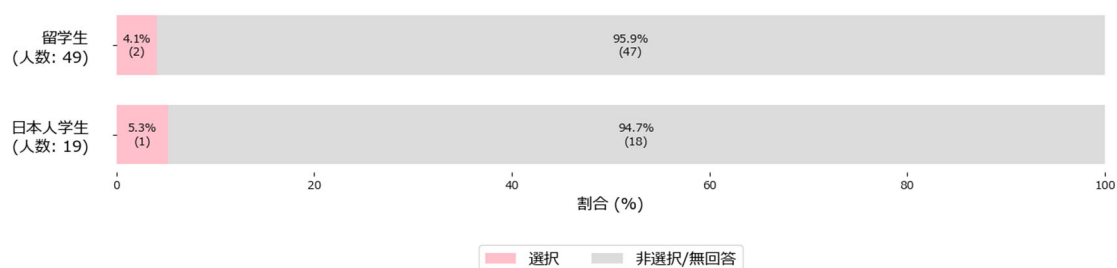
9.3.2.3 (3) 大学院で研究することに自信がないから



9.3.2.4 (4) 友人と同期できないから



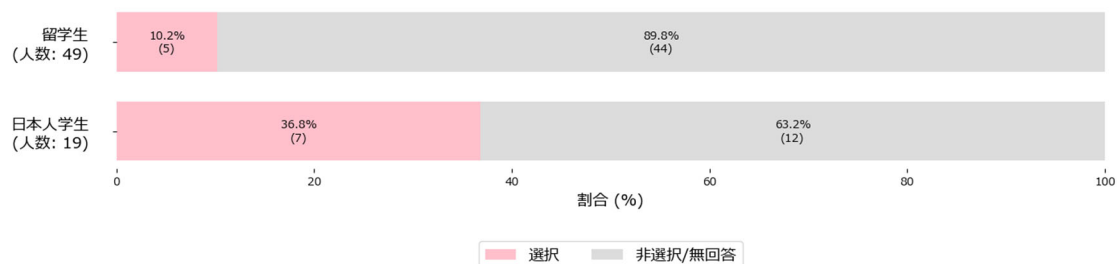
9.3.2.5 (5) その他



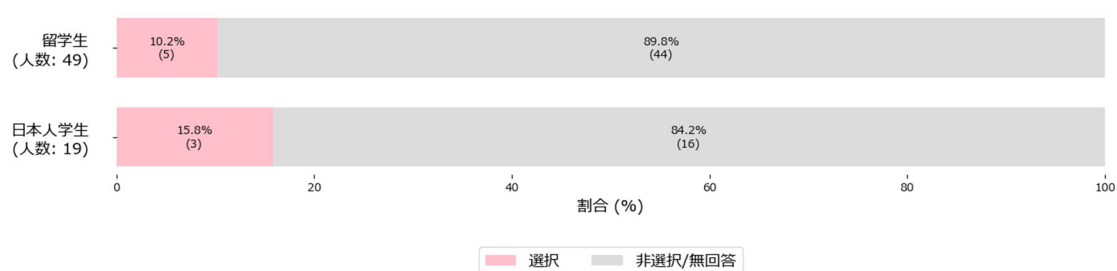
9.4 【所属コース外の専門科目やプログラムについて】

9.4.1 1) 選択したコースのカリキュラム以外（文系教養科目，キャリア科目を除く）で履修した専門科目やプログラムを選択してください。（複数回答可）

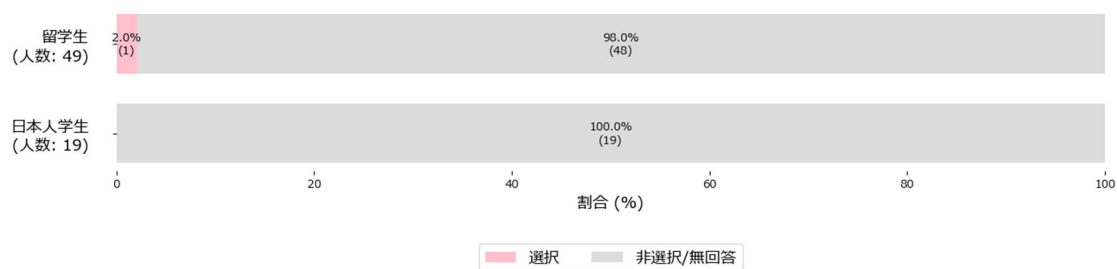
9.4.1.1 (1) 学んでいない



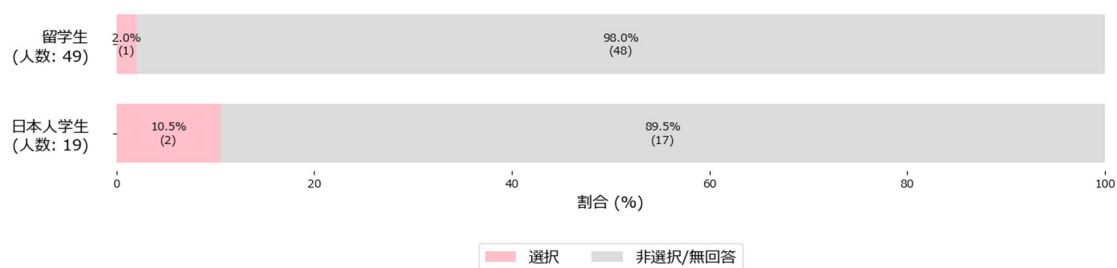
9.4.1.2 (2) 他コースの専門科目



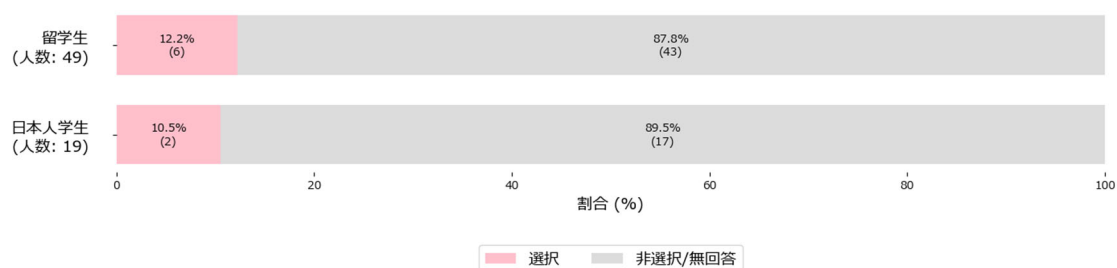
9. 4. 1. 3 (3) 副専門学修プログラム



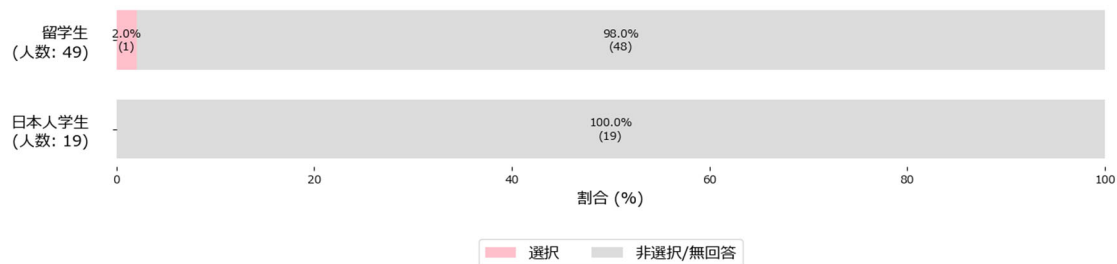
9. 4. 1. 4 (4) 特別専門学修プログラム



9. 4. 1. 5 (5) 卓越大学院やリーダーシップ教育院のプログラム

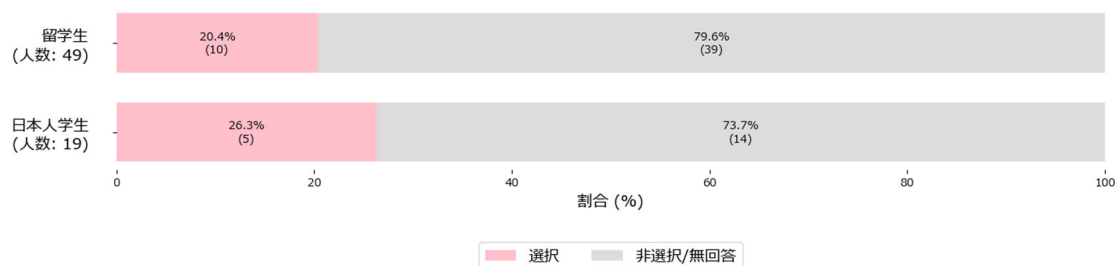


9. 4. 1. 6 (6) その他

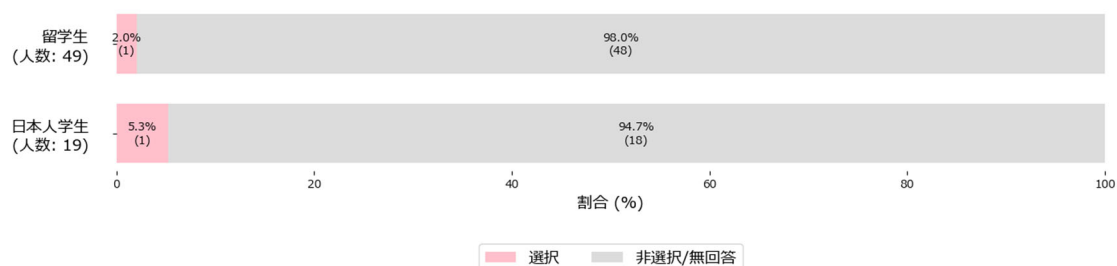


9.4.2 2) 1) で履修した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

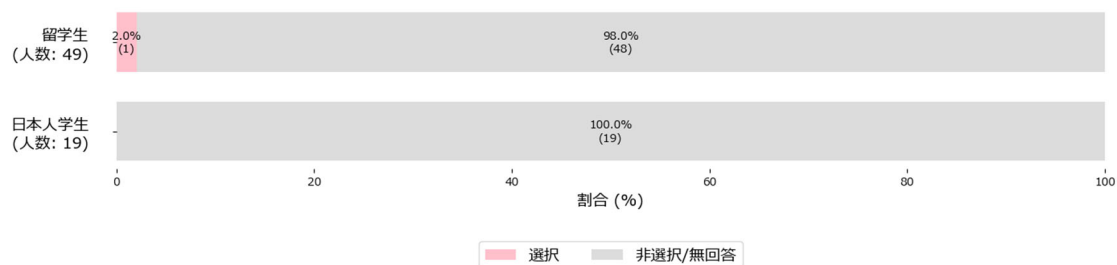
9.4.2.1 (1) 興味があったから



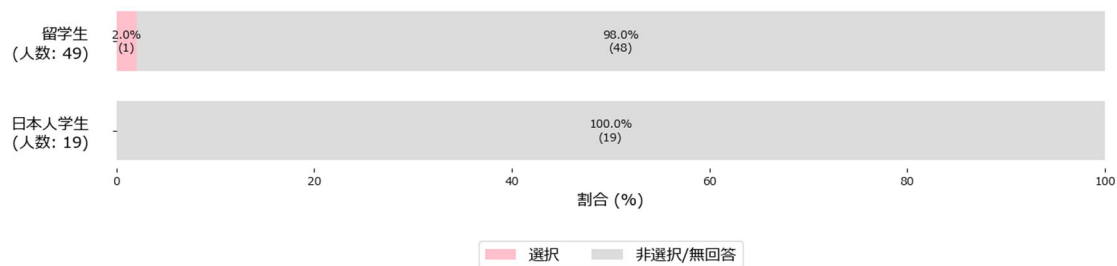
9.4.2.2 (2) 目指したい目標を実現するため



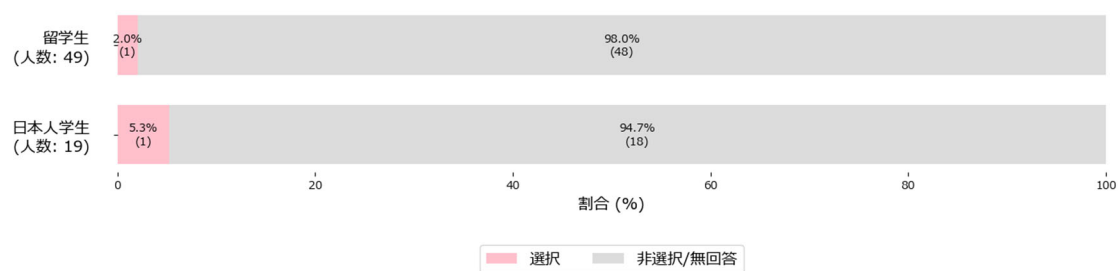
9.4.2.3 (3) 就職先で活用できるかもしれないと思ったから



9.4.2.4 (4) 友人や教員による薦め



9.4.2.5 (5) その他



9.4.3 3) 1) で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

